

## 平成28年7月 青果部 主要品目の市況

	種類	品名	市況の概要	H28年7月 数量 (トン)	H28年7月 平均単価 (円)	前年同月比 数量	前年同月比 平均単価
1	野菜	人参	北海道道南地区・青森県産中心の販売でした。前進出荷で前倒しの出荷により月末の数量が少なくなりました。	465	169	98%	117%
2		キャベツ	前進出荷で群馬県嬭恋産中心の販売でした。大玉、6玉サイズが多く、販売苦戦が続きました。数量は日量15～20万ケースと安定が続きました。	827	70	99%	74%
3		トマト	北海道産・東北産中心の販売でした。産地の天候不順の影響から若干遅れ、入荷減となりました。	468	319	89%	110%
4		なす	関東産、特に群馬県産中心の販売でした。ハウス作が順調だった為数量が伸びましたが、露地作については遅れがありました。	130	383	122%	98%
5		たまねぎ	兵庫県産及び佐賀県産中心の販売でした。佐賀県産が病害による凶作の為、早期切り上げた上、兵庫県産も数量が伸びず、数量減となりました。	336	199	67%	119%
6	果実	西瓜	千葉県産・新潟県産が前進出荷により数量減となりました。東北産が出荷されましたが例年並みの出荷ペースの為、数量減の単価高となりました。	809	170	81%	130%
7		デラ	山形県産はハウスデラが順調、やや前進気味ではありましたが、無加温ハウスに変わるときに天候不順の影響を受け入荷減となりました。	24	757	71%	105%
8		桃	上中旬は山梨県産中心、下旬は福島県産中心の販売でした。山梨県産が小玉中心でした。	163	482	81%	119%